【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2011-39546(P2011-39546A)
【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-008
【出願番号】特願2010-226031(P2010-226031)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/238　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｆ
Ｇ０３Ｂ　15/02　Ｇ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｘ
Ｈ０４Ｎ　5/238　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｇ
Ｈ０４Ｎ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成23年5月30日(2011.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
内蔵ストロボでプレ発光と本発光を行う方式のデジタルカメラに使用される外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボのプレ発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光し、その後、外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボの本発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光するようにした外付けストロボ装置の光量制御方法において、
外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングと同時もしくはその近傍となるように制御し、状況に応じて外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングよりも延ばすようにして、外付けストロボのプレ発光の光量調整を可能にして、内蔵ストロボのプレ発光の光を遮光させて被写体に照射させずに外付けストロボのプレ発光の光が適正に被写体に照射されるように光量制御を行うことを特徴とするデジタルカメラ用外付けストロボの光量制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】

内蔵ストロボでプレ発光と本発光を行う方式のデジタルカメラに使用される外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボのプレ発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光し、その後、外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボの本発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光するようにした外付けストロボ装置において、
外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングと同時もしくはその近傍となるように制御する手段と、
状況に応じて外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングよりも延ばすようにして、外付けストロボのプレ発光の光量を調整する手段を備え、
内蔵ストロボのプレ発光の光を遮光させて被写体に照射させずに外付けストロボのプレ発光の光が適正に被写体に照射されるように光量制御を行うことを特徴とするデジタルカメラ用外付けストロボの光量制御装置。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
前記課題を解決するためになされた請求項１の発明は、内蔵ストロボでプレ発光と本発光を行う方式のデジタルカメラに使用される外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボのプレ発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光し、その後、外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボの本発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光するようにした外付けストロボ装置の光量制御方法において、外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングと同時もしくはその近傍となるように制御し、状況に応じて外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングよりも延ばすようにして、外付けストロボのプレ発光の光量調整を可能にして、内蔵ストロボのプレ発光の光を遮光させて被写体に照射させずに外付けストロボのプレ発光の光が適正に被写体に照射されるように光量制御を行うことを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項４の発明は、内蔵ストロボでプレ発光と本発光を行う方式のデジタルカメラに使用される外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボのプレ発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光し、その後、外付けストロボで内蔵ストロボと接続された光ファイバーを介して受光した内蔵ストロボの本発光の発光開始をトリガーとして、外付けストロボが発光するようにした外付けストロボ装置において、外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングと同時もしくはその近傍となるように制御する手段と、状況に応じて外付けストロボのプレ発光の発光停止タイミングを内蔵ストロボのプレ発光の発光停止タイミングよりも延ばすようにして、外付けストロボのプレ発光の光量を調整する手段を備え、内蔵ストロボのプレ発光の光を遮光させて被写体に照射させずに外付けストロボのプレ発光の光が適正に被写体に照射されるように光量制御を行うことを特徴とする。